

DXによるまちの活性化

観光客の誘致
地域振興・交流
インバウンド対策

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを



解決したい 課題内容	徳島市の中心市街地は、令和2年8月のそごう徳島店の閉店やコロナ禍における飲食店の廃業などの影響を受け、以前のような活気が失われた状態が続いています。 今後、モノ消費だけでなく、コト消費の場として中心市街地を再生するため、新たな街の楽しみ方を官民が共同して生み出していきたいと考えています。
課題に対する 現在の取組	徳島駅前のアミコビル再生や新たな文化ホールの整備、阿波おどりはじめとした観光イベントの活性化などにより、まちなかへの来街者数や歩行者数などを増やそうとしています。 また、JR徳島駅と阿波おどり会館の間に位置する新町西地区において、ホテルやマンション、商業施設を備えたビルを建設する再開発事業を進めています。 再開発ビルには川の駅を併設し、水都とくしまを象徴する観光資源であるひょうたん島周遊船を活用して、訪れた人々に新たな楽しみを提供できる場として再生を図っています。
提案者側に 期待すること	徳島市と連携して、市のフィールドや資産を生かしながら、デジタル技術を用いた新たな街の楽しみ方を創造し、人流増加や来街目的の多様化など、まちなかの活性化につながる取組を行ってください。 民間事業としての自走の可能性など、実証実験後の展開も含めて長期的なご提案をいただけると、本市でも前向きな検討が行いやすくなりますので、よろしくお願いいたします。

